

題材名	領域	時数
「 ○○美術館 ～キュレーターに挑戦～」	鑑賞	3時間

この題材で育てたい資質能力

- ・ 友達と話し合いながらアートカードの作品をいろいろな視点で鑑賞し、作品の表現のよさや特徴を感じることができるようにする。

アートカードを見て…

これなんだろう？

グループの友達と美術展を企画しよう！

おもしろいね～

これが好き！

何展にしよう？

共通点があるかな

みんなの美術展で展覧会。

そして最後に、「+1」!

何でこれを選んだんだろう

これ、何展かな？

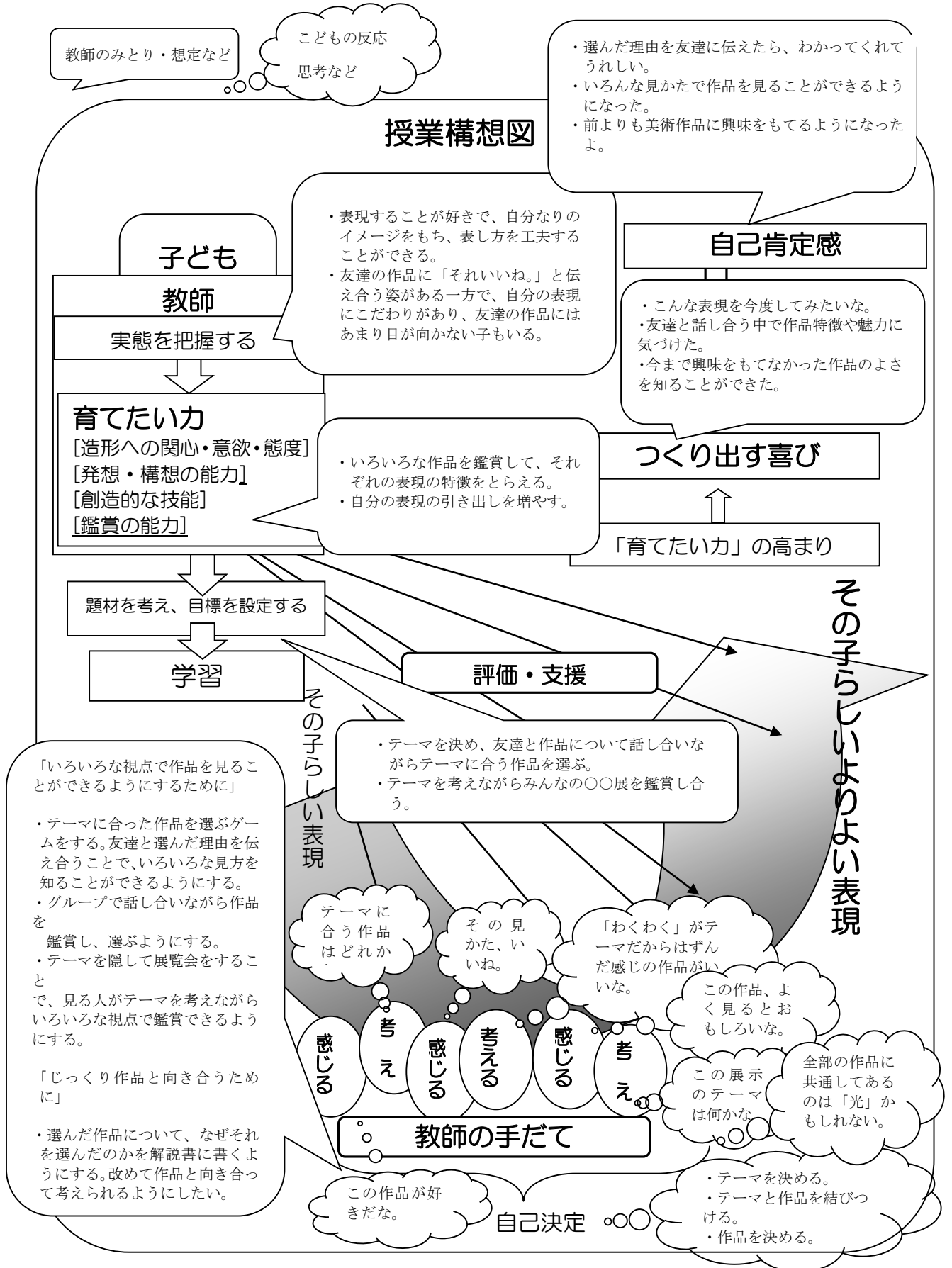
自分たちの美術展に、自分の作品を「+1」!

関：いろいろな作品を鑑賞し、それぞれのよさや美しさを感じ取ろうとしている。
発：グループで考えた美術展の題名をもとに発想を広げ、自分の作品を思いついている。
創：表したい雰囲気に合わせて材料や用具を選び、自分の作品に表している。
鑑：アートカードを見て感じたことや思ったことを友達と話し合い、表現の特徴をとらえている。

第5学年「〇〇美術展+1～キュレーターに挑戦～」(鑑賞) 3時間扱い

指導者 川崎市立麻生小学校 佐野 美央

「その子らしいよりよい表現」につながる授業の構想



◇活動内容

○教師の手立てとかかわり

◎「感じる」「考える」ことを大切にした手立て

【評価規準】・・・(評価方法)

○○美術展のキュレーターになろう。(15分)

◇美術展やキュレーターについて知る。

○「笑い展」のポスターや展示されていた作品を紹介した。



◎「笑い展」のポスターから、どんな作品が展示されていたのか聞いた。

◇お題に合ったアートカードを選ぶゲームをする。

○キュレーターになるための研修として、ゲームをした。

◎お題を、形のないものにすることで、じっくり作品と向き合えるようにした。

キュレーターって
おもしろそう!

おもしろい展覧会
があるんだな。

未知の世界に進んでいく感じ
がするから、「ようこそ展」。

◎何を視点に選んだか聞き、
「色」や「形」に注目して選ぶ
とよいことを確認した。



草原でのびのびできそうだから、
のびのび展にいいと思う。

◎「なんとなく」で選ば
ないために、理由を言う
ようにした。

お題

- ・のびのび展 (様子)
- ・大きな音展 (音)
- ・風展
- ・ようこそ展 など

【関】いろいろな作品を鑑賞し、それぞれのよさや美しさを感じ取ろうとしている。(活動)

みんなが行ってみたいくなる美術展を企画しよう。(45分)

◇グループで話し合っ
て美術展のテーマを
考え、作品を選ぶ。

○グループで美術展の
テーマを考え、作品を
選ぶよう伝えた。



◎子どもの思いを生かすため、
グループで話し合っ
て美術展の題名と作品
2点を決め、もう1点
ずつ、一人ひとりが自
分で選んで決められ
るようにした。

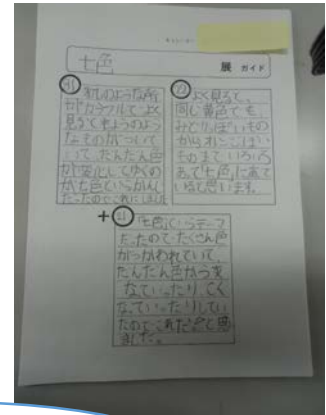
これは昔の屏風の絵
みたいだから「びょう
ぶ展」はどう?

これも画風が昔っ
ぽいから、「歴史展」
にしようよ。

◇作品を選んだ理由を「美術展ガイド」
に書く。

◎ガイドを書くことで、改めて作品をじっくり鑑賞して、特徴やよ
さ、美しさに気付けるようにした。

【鑑】作品の表現の特徴をとらえながら、友達と話し合っている。
(活動、ワークシート)



美術展を開こう！（30分）

◇みんなの美術展を鑑賞する。

◎美術展の名前を隠して展示することで、ど
の美術展が何展か、考えながら見られるよ
うにした。

【鑑】作品をいろいろな視点から見るができる。
(活動、ノート)

これが「七色展」だと思うけど、こ
の作品はどこが七色なんだろう？



同じ作品を選んでいるけど、
人によって見方が違うね。

〇〇美術館+1 自分の作品をかざろう。（45分）

◇美術展に飾りたい自分の作品をかく。

「あなたの美術展」
不思議な形の生物をつくるこ
とでみんながいろいろ考える
と思いました。



◎友達と話しながら発想を広げられる
よう、グループでの活動にした。

◎表したいイメージに合うように、か
く材料を選んでよいことを伝えた。



「七色展」
クレヨンの色をぼかしたり、
赤の中に青を入れてみたりし
ました。

【発】グループで考えた美術展のテーマ
や選んだ作品から、飾りたい作品を思い
ついている。(活動、作品)

【技】表したい雰囲気に合わせて材料や
用具を選び、絵をかいている。
(活動、作品)

「へんてこ展」
ビルなどの建物をくねくねに
して、まがった世界を表現し
ました。

